

農業の新時代へ未来へむけて



写真はイメージです



北海道八雲町 企業版ふるさと納税

研修牧場プロジェクトにご支援をお願いいたします。

～ 産業を活性化し、働く人をつくる ～

地域担い手の高齢化による酪農家戸数の減少や、労働力確保が容易ではない現状を背景に、新規就農の入り口としての研修機能や家畜糞尿のバイオガス処理など、地域が抱える課題解決を図りながら、省力化と生乳生産量の拡大を両立させ、八雲町における地域及び農業振興を目指すため研修牧場を整備します。

最新設備
導入による
未来型の農業

酪農担い手の確保



研修牧場 2021年4月稼働を目指します!



八雲町長
岩村 克詔

お問い合わせ・寄附のお申し込みは

八雲町 政策推進課

〒049-3192 北海道二海郡八雲町住初町138番地
TEL: 0137-62-2300
E-mail: seisaku@town.yakumo.lg.jp
ホームページ <https://www.town.yakumo.lg.jp>

日本で唯一二つの海を持つ町八雲町

八雲町は東を太平洋、西を日本海に挟まれ、農業・漁業ともに恵まれた立地となっています。太平洋側では海洋性気候のため夏期に霧が発生することがあり、この気候を利用して八雲町では古くから酪農業が発展しました。



研修牧場の機能

研修牧場は、八雲町、新函館農業協同組合、(株)不二家、地域の生産者が出資する「株式会社青年舎」が運営します。

北海道八雲町 株式会社 青年舎
HOKKAIDO YAKUMO SEINENSHA

生産部

ダイカン 大関牧場

約300haの草地を基盤に、最新の搾乳ロボットとパーラー(搾乳専用施設)による搾乳や、家畜ふん尿処理施設としてバイオガス発電所を併設し、徹底した省力化と生乳生産量の拡大を両立させ、自立した牧場経営を行い、八雲町における農業の振興をめざします。



生産

育成預託

〔大関牧場の由来〕

明治28年、宇ユラップと宇トワルベツ(現在の上八雲と富咲地区の一部)に大阪、下関から入植した4人により創設された「大関農場」に由来しています。

*草地面積 約300ha

*搾乳牛頭数 約590頭

*生乳出荷目標 年間約6,500t



この牧場の収益は、研修部門の運営のほか、八雲町の様々な農業振興のために活用されます

連携

*北里大学獣医学部附属
FSC八雲牧場との連携

研修部



農業の持続的発展を見据え、新規就農希望者を受け入れ、2年間の研修を行うとともに町の担い手育成センターにより就農へのサポートを行います。また、農福連携や小中学生を対象とした食育体験、学生や社会人を対象とした短期実習などを計画しています。

研修

*研修生用集合住宅を併設

*2年間の研修後、町内の酪農家から第三者継承により就農

*法人従業員としての雇用の道も

体験

*小中学生を対象とした食育体験

実習

*農業系高校・大学の学生実習受け入れ

*社会人向け短期就業体験プログラム

福祉

*作業員として、高齢者・障がい者を雇用

施設概要

〔住所〕北海道八雲町上八雲

- ▶ フリーストール牛舎：鉄骨造2棟 (7,144㎡)
- ▶ 育成舎：鉄骨造3棟 (5,459㎡)
- ▶ 乾乳牛舎：鉄骨造1棟 (2,598㎡)
- ▶ 哺乳舎：鉄骨造1棟 (407㎡)
- ▶ 搾乳後育成舎：鉄骨造1棟 (384㎡)

- ▶ 管理棟：木造1棟 (169㎡)
- ▶ 研修棟：木造1棟 (414㎡)
- ▶ 敷料庫：鉄骨造1棟 (324㎡)
- ▶ 飼料調製庫：鉄骨造1棟 (208㎡)

- ▶ 牛舎附帯機械：搾乳ロボット8台、自動換気システム、バルククーラー、餌寄せロボット等
- ▶ バンカーサイロ：12基
- ▶ 貯留槽(家畜ふん尿処理施設)：RC造2基
- ▶ バイオガスプラント：150kw1基